民主党かたがわクラフ 県政報告Vol.4 続け ŕz 現のため

補助

事業の実績などを参考 利子補給制度の創設、

心でのがん

治療に対する

神奈川県議会議員 石川ひろのり

の医療

口

ーンの設定な

負担軽減策に取組

今後公立中学校 がん治療対策について

生徒数が減少し ていく傾

文教常任委員

議員活動

年目

ஏ ᄠ

牟

活動をして参りました。 算委員会」の各委員として 社会問題特別委員会」 生徒の立場に立っ 立高校改革 高校、 ・統合あたっては単なる人 差があります。 .動態だけではなく 同じ県内でも地域間 私立高校などの地 今後の改 市立 园 た大きな一歩であると考え がったことは、 **世子線治療」** 羽線治療の 県立がんセンターでの放 がん治療の選択肢が広 つである の開始によっ 未来に向い ίŤ 場の声」で 治 う強く要望しました。 視点で議会で質疑し、 の場に届け、 いたご意見・ご要望を政 私の質問の「根本」は

です。

皆さまから

皆さまと同

少が進む中で本県 た けられないことがないよう、 外れた場合でも、 うに厚生労働省や学会へ、 額で、 、が経済的理由で治療を受 くことを議会で要望しま っかりと働きかけをして 万一、先進医療から 治療を必要とする 、治療費が ります。 参ります。 皆さまからのご 意見ご要望をお待ちし 麻生区百合丘1-5-4

が行

われます。

めるよう

議会で求めまし

本

県の考えが反映されるよ 医療の見直しについては、

主義」を貫き

活動をして

これからも「徹底的に現場

かりと報告いたし

)ます。

改

以編・統合

1 (20 30 校 少子化、

の立場に立った計画を進

平成29年度から県立高校

的背景を考慮した上で

ます。

国で検討している先

•455•661